


見える化シート

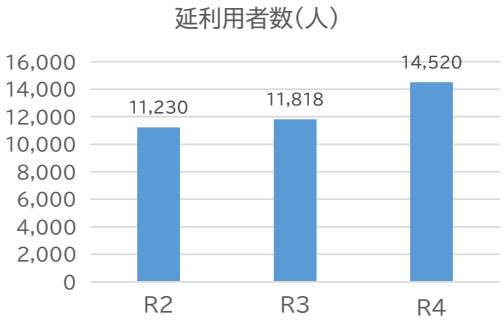
基準日

令和5年3月31日現在

基本情報

施設名称	博物館	
所在地	八戸市大字根城字東構35番地1	
所管部署	博物館	
設置の目的	教育、学術及び文化の発展に寄与するための拠点として設置するもの。	

管理・運営の概要

土地	土地面積	7,725.00	m ²	所有状況	市有地					
	用途地域	第一種中高層住居専用地域								
建物	建物名称	博物館								
	建築年月日	昭和57年9月30日								
	延床面積	3,767.49	m ²	構造	鉄筋コンクリート	階数	地上	2	地下	—
	整備費用	1,501,252	千円	財産区分	行政財産					
	耐震診断	不要		診断結果	—					
運営	開館時間	9:00~17:00								
	休館日	毎週火曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始								
	開館日数(日)	R2	292	R3	245	R4	311			
	運営形態	直営								
利用	主な利用者	市民(全市的)		観光客		—				
	延利用者数(人)	R2	11,230	R3	11,818	R4	14,520			
	1日当たり利用者数(人)	R2	38	R3	48	R4	47			
	利用料金	入館料	一般250円、高校・大学生150円、小・中学生50円 (特別展開催期間は特別料金)				貸館利用料			

※令和5年4月1日から中学生以下無料。市内在住の65歳以上の方、障がい者手帳等をお持ちの方と同伴者1名は半額。
(利用料金の詳細については施設ホームページに掲載)

駐車場の有無					職員数(人)	
駐車場の有無	有	自動車	23		正職員	会計年度任用職員
利用時間	9:00~17:00	原付・バイク	有			
入出庫時間	9:00~17:00	自転車	有		8	6
バリアフリーの状況					自家発電設備等	
車いす駐車場	出入り口のスロープ	障害者用エレベーター	オストメイト対応トイレ		自家発電設備	再生可能エネルギー設備
○	○	○	—		○	—
災害指定避難						蔵書数(冊)
指定緊急避難場所					指定避難所	
洪水	土砂	地震	大規模な火災	火山		
—	—	—	—	—	—	—

施設運営費の状況			(単位:千円)					
		令和2年度	地元 発注率	令和3年度	地元 発注率	令和4年度	地元 発注率	
支出	人に係る経費	54,109	/	61,957	/	63,492	/	
	企画運営費	10,389	100%	14,225	100%	17,488	100%	
	施設の維持管理費		46,742	100%	46,036	100%	49,882	100%
		うち、光熱水費	11,441	/	12,752	/	16,814	/
		うち、委託料	27,915	100%	27,289	100%	27,520	100%
	合計	111,240	/	122,218	/	130,862	/	
収入 (財源)	使用料	1,495		1,561		2,070		
	その他	1,237		2,413		2,940		
	一般財源	108,508		118,244		125,852		
	合計	111,240		122,218		130,862		
施設運営費の特徴				支出経費の構成割合(令和3年度)				
<p>1. 人に係る経費 特別展・企画展開催や資料の収集保存など企画運営業務に8人、その他の施設運営や管理に4人が従事しています。</p> <p>2. 企画運営費 特別展、企画展開催にかかる経費及び、集客を図るための新聞への広告掲載費、看板作成費等に一定の経費を要しています。</p> <p>3. 施設の維持管理費 収蔵品や展示品の適切な温湿度管理のため、常時空調設備を稼働させる必要があり、これに伴う電気代を要しています。 また、受付業務、館内の監視業務等に一定の経費を要しています。</p> <p>4. その他 その他収入の主なものは建物貸付収入です。</p>				<p>維持管理費(その他) 4%</p> <p>維持管理費(委託料) 21%</p> <p>人に係る経費 49%</p> <p>維持管理費(光熱水費) 13%</p> <p>企画運営費 13%</p>				

取組の状況	
設置条例	八戸市博物館条例
運営方針等	先人の優れた文化遺産を保存して後世に引き継ぐとともに、その一部を展示公開し、八戸の風土と歴史を紹介する。
取組の内容	<p>1. 施設の特徴 当館では、考古・歴史・民俗・無形資料の常設展示を主体としており、そのほかに特別展や企画展を開催しています。また、教育普及活動として、講演会や博物館クラブなどを実施しています。</p> <p>2. 主な事業</p> <p>(1) 常設展の開催 考古－縄文時代から中世までの出土品等 549点 歴史－八戸2万石の城下町としての様子等 109点 民俗－八戸の漁業・農業・信仰・芸能等 234点 無形－八戸の民謡・昔話・わらべ歌・方言、市内の各学校の校歌、八戸の観光等 153点</p> <p>(2) 特別展の開催 夏季特別展「ナゲモノ拾いから始まった」 会期:令和4年7月9日(土)～8月28日(日) 入館者数:2,075人 秋季特別展「透明なうたかた」 会期:令和4年10月8日(土)～11月23日(水・祝) 入館者数:3,057人 ※併催行事としてギャラリートーク、特別展講演会等を開催</p> <p>(3) 企画展・パネル展の開催 ①企画展「新収蔵資料展」 令和3年度に新たに収蔵した資料を紹介する企画展 会期:令和4年4月23日(土)～5月22日(日) 入館者数:1,953人</p>
	<p>常設展示室</p>

②ミニパネル展「八戸の防災」
 防災意識の高揚を目的として、毎年、防災月間の9月にあわせて開催
 会期:令和4年9月1日(木)～9月30日(金) 入館者数:951人

③新春ミニ企画「えと展ーうさぎー」
 令和5年の干支である「うさぎ」に関する資料を紹介するミニ企画展
 会期:令和4年12月3日(土)～1月15日(月) 入館者数:866人

④企画展「えんぶり展」「ひな人形展」
 国の重要無形民俗文化財に指定されている代表的な郷土芸能「えんぶり」
 の歴史や内容について紹介。
 「ひな人形展」では、八戸の商家に伝えられた享保雛、昭和期の古今雛、
 郷土雛を展示する。



ミニパネル展「八戸の災害」

(4) 教育普及活動の実施

①博物館クラブ
 小中学生から一般を対象とした体験学習講座 計9回開催 参加者数 延べ154人

②おとなの博物館クラブ
 高校生以上を対象とした本格的な体験講座 計2回開催 参加者 11人

③館外フィールドワーク「八戸城下めぐり」
 中心街を歩きながら、八戸藩政時代の城下町であった名残をめぐる。
 計2回開催 参加者数 21人

④市民のための歴史講座(博図連携事業)
 共通テーマによる歴史講座 計4回開催 参加者数 95人



博物館クラブ

3. 維持管理費と財源の見通しについて

○過去3年度における施設運営費の平均 (単位:千円)

支出	人に係る経費	59,853
	企画運営費	14,034
	施設の維持管理費	47,553
	うち、光熱水費	13,669
	うち、委託料	27,575
	合計	121,440
取入(財源)	使用料	1,709
	その他	2,197
	一般財源	117,534
	合計	121,440

(1)維持管理費について

①維持管理の状況について
 博物館では、常設展示室に約1,000点、収蔵庫内に約74,000点もの文化財を有しており、
 文化財にとって最適な温湿度環境を確保するため、常時空調稼働し、文化財の保存に努めています。
 今後、空調設備や消防設備などの設備更新を予定しており、維持補修費が増える見込みとなっています。

②維持管理費削減の取組
 照明のこまめな消灯の徹底や、空調を行う場所や時間の制限、電気契約の見直しなどの実施により、
 これまで光熱水費の削減に努めています。
 また、展示リニューアル事業の一環として令和7年度に照明のLED化を進め、更なる維持管理費削減に取り組みます。

(2)財源の見通しについて

施設使用料のほか市税や地方交付税などの一般財源を基本に、その他収入として建物貸付収入等を引き続き
 確保するとともに、新しい財源の確保に努めていきます。